

## 犯罪被害者による体験報告

### Aさん

今から数年前、突然、隣人に夫を刺されました。犯人は、子どもの騒ぐ音や声がうるさかったのだそうで、応対した夫は、加害者に殺されてしまいました。すぐに病院に運ばれましたが、救われませんでした。昨日まで笑っていた夫が突然なくなったということが信じられなくて、事実が受け入れられませんでした。

夫と私には、まだ幼い保育園に通う幼い娘がいました。

娘は小さくて事件のことをどこまでわかっていたかわかりませんが、1週間ぐらいは、娘は、昼も夜も外にでたくないと言って、ひきこもっていました。何もないのに突然泣き出したり、はたから見ても明らかに情緒不安定な状態でした。

こんなことで、突然、夫との別れがくるとは思ってもいなかったの、何をすればいいのかもわかりませんでした。

事件の翌日には、何の承諾もしていないのに、ニュースで名前も報道されてしまいました。ニュースを見た知人も何と声をかけていいかわからないだろうと思うし、だれかと会うと、事件のことを知ってるのじゃないかと思うと、誰にも会えない気持ちになりました。

事件にあったことをほとんど周りにも伝えることもせず、ひっそりと夫を見送りました。

当時は無我夢中で、やらなくてはならない課題をひとつひとつこなしていっている感じでした。こころの整理もつかないままに進んでいかなければならない状態でした。突然、ひとり親家庭になってしまったので、役所の手続きをしたり、警察や、検察、弁護士との打ち合わせをして、何かをやらなければいけないということに追われ、ひとつひとつを無機質に終わらせていっている感覚でした。役所や警察などに行くためのほかは、ほとんど外出できませんでした。

今、こうしてお話しするために思い出そうとしても、事件直後のことはあまり記憶に残っていません。

事件後半年ぐらいは、何も手につかず、何もできなかったと思います。娘の面倒などは、母に泊まり込んでもらってみてもらっていました。

私自身、勤続20年近く勤めており、とても環境のいい職場でしたが、とてもじゃないけれど働き続けられないと思い、やめざるをえませんでした。

辞めざるを得なくて仕事をやめました。形は、自己都合退職だったので、失業保険もすぐには受け取れませんでしたし、犯罪被害の遺族だからといっても、

普通の退職した人と同じで、仕事を探すために、ハローワークに行って仕事を探していなければ、失業保険は出ないと言われました。

日々生きていくだけで、精一杯でした。

精神的にもつらい状態でした。

しかし、いろいろな制度の期限は、考慮してくれません。

情緒不安定な娘のことを考えると、娘の環境はできるだけ変えずに、引き続き保育園に通わせたいと思いました。区役所からは、いついつまでに再就職をしなければ、保育園には通えないと言われ、待たなでした。しかし、仕事を探すことも、なかなか手につかず、一度、窓口で、犯罪被害に遭ったという事情を伝えたことはありますが、まったく考慮されることはありません。

それに、犯罪被害にあつて夫を亡くしたということも言いたくありませんでした。

年金の届け出、国民健康保険の手続き、子ども手当、区役所などの手続きでも、犯罪被害に遭ったからといって特別な扱いはされません。

何回、なまえを書いたかわかりません。

ひとり親になって使える制度なども、役所ではおしえてくれないので、自分で調べていって伝えて始めて、窓口を案内され、またそこに行って手続きをするという状態でした。ひとつひとつが、本当におっくうでつらかったです。

もし、1か所で、手続きができたり、関連するものを全部まとめて処理できれば、全然違うと思います。例えば、被害者支援員のような人が、書類をまとめてくれれば、とても助かると思います。

事件前は夫の収入に頼っていたので、事件直後は、まったくお金がなく、葬儀代なども含め、親族に借りました。

生命保険金がおりて、あちこちの借金を返しました。

夫が生命保険に入っていなかったら、本当に生活が立ち行かなかったと思います。

加害者からは、裁判のときに供託された150万円ほどは受け取りましたが、それ以外は支払われていません。

この150万円があったので、民事の損害賠償請求をする弁護士費用に充てましたが、そのお金がなかったら民事の賠償請求もすることができなかつたら、本当におかしなことだと思います。

私の場合は、生命保険があったので何とか生活はで

